

壊す必要のない辛島公園の全面改修 4 億 4000 万円のムダ、市民が自由に使えない すべては、市民不在の「指定管理者制度」導入のため

辛島公園・花畑公園に「有料公園施設」を設けて、これまで許可していなかった営利目的に貸し出し、指定管理者制度（民間管理）を導入する「都市公園条例の一部改正」が 6 月議会に出されました。党市議団として、問題点を指摘し、都市公園本来の利用を求めました。

「行為許可申請」や「占用許可申請」は残し、減免で対応

「行為許可申請」や「占用許可申請」による市民利用はこれまで通り残すことが、予決委員会で答弁されました。

「有料施設」料金を原則にこれまでの利用は「減免」で

対応されます。

しかし、都市公園の本来の目的は、公共オープンスペースとしての市民の自由な利用です。これを基本的運用とすべきです。

「有料公園施設」は「自由利用の原則」に反する

国の都市公園法運用方針には、「自由利用の原則」が明記され、基本的な運用とされています。今回の「有料公園施設」設置による営利目的への公園開放は、市民の自由な利用を妨げるもので、法の運用に反します。

設」設置による営利目的への公園開放は、市民の自由な利用を妨げるもので、法の運用に反します。

市民への情報提供・説明のない市民不在のまちづくり

指定管理者制度導入や、「有料公園施設」で営利目的への使用へ道を開くなど、重大な問題が市民に知らされず整備されています。中心市街地の真ん中、熊本市の顔ともいえるべき公園の整備が市民不在ではいけません。

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町 1-1 3 階

発行：日本共産党熊本市議団

上野みえこ なすまどか

NO. 1240

2021 年 7 月 4 日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団



検索



公園が「指定管理者制度」で有料に

1 円の設備投資もせず、税金で整備した施設を活用し、特定企業が収益を得るのが指定管理

者制度です。4 億 4,000 万円で整備した公園が企業の金儲けのため有料になるのは大問題です。

歴史や位置づけも壊す、辛島公園の整備・運用見直し

辛島公園は、市制百周年記念事業の関連で 1991 年にリフレッシュ。市民文化を生み出すにぎわい交流広場をテーマに市民に、休養・散策・ふれあいの場を提供、戦後復興の拠点・平和

の象徴・母子像モニュメントを設置するなど、歴史的な意義を持って整備されました。

今回の整備や運用見直しは、辛島公園の歴史や位置づけまでも壊すものです。

【控室から】 6 月議会を終えて

上野 みえこ

6 月議会は一般質問もあり、忙しい議会となりました。会期は 19 日間でしたが、質問準備もあり、議会前も忙しい毎日が続きました。田舎への帰省もしばらくできませんでしたが、議会の終わるのを待っていたかのように、「頼みたいことがあるので来てくれない？」と、母からの連絡がありました。申し訳ない気持ちいっぱい、早速母をたずねました。些細なことを頼まなければならぬこと、ちよっとしたことができないことや、うっかり忘れることの多さに、自信をなくしているみたいですが、「歳をとったら、それが当たり前」と励まします。まわりから見れば、着実に歳をとっている、本人は以前のように、何でも自分でできることが当たり前と思えるようです。それでも、畑での野菜作りや庭いっぱいに花を植え、痛い足腰をさすりながら、頑張っているのが何よりの活力だと思っています。食べきれない野菜や抱えきれない花をお土産に持たせてくれるのが、唯一の楽しみのようなです。田舎の生活は不便も多いと思いますが、「いつまでも元気で」と願わずにはいられません。



熊本市内で唯一の世界遺産「世界かんがい施設遺産・渡鹿用水群」 認知度を高め、歴史的・教育的財産として十分な活用を

2018年8月に「世界かんがい施設遺産」に登録

2018年8月に「白川流域かんがい用水群」が「世界かんがい施設遺産」に登録されました。

「白川流域かんがい用水群」は、①渡鹿用水（熊本市）、②上井手用水（大津町・菊陽町）、③下井手用水（大津町・菊陽町）、④馬場楠井手用水（菊陽町・熊本市）で構成されています。「渡鹿堰」は、「白川流域かんがい用水群」の中でも白川最大級の堰として注目すべきものです。

「世界遺産」にふさわしい位置づけを

世界かんがい施設遺産「白川流域かんがい用水群」は、熊本市内で唯一の世界遺産と名のついたかけがえのない施設です。

6月議会の一般質問で上野みえこ議員は、市が世界遺産にふさわしい位置づけを行うことを

世界かんがい施設遺産とは

「国際かんがい排水委員会」が、建設から100年以上経過し、かんがい農業の発展に貢献、卓越した技術で建設されているなど、歴史的・技術的・社会的にも価値のある施設が登録するものです。

2020年3月現在、世界に91カ所登録、世界的にも貴重な本市唯一の世界遺産登録施設として価値の高いものです。

求めました。

市長は、「リーフレットの作成やSNSを活用した情報発信と併せ、広く世界かんがい施設遺産の認知度向上に努めていく」と答弁しました。

2022年4月熊本開催「アジア・太平洋水サミット」でスポットを

来年、2022年4月には、アジア太平洋地域の首脳級や国際機関代表などが集い水に関する諸問題を議論する「第4回アジア・太平洋水サミット」が熊本市で開催されます。世界かんがい遺産に、広くスポットを当てるチャンスです。

上野みえこ議員は、「アジア・太平洋水サミット」で世界

市民の財産として十分活用するため、周辺施設の整備を

市民の財産として教育的にも活用できるよう、モニュメントや説明版・休憩所やトイレなどを整備するなど、広く市民に親しんでもらうための周辺整備を求めました。

市長は、「渡鹿堰に関する説明板は設置されるので、休憩所・トイレなどの整備も、地元の要望を国に伝える」と答弁し

かんがい遺産に関する展示スペース設置・シンポジウム開催などを求めました。

市長は、「アジア・太平洋水サミットのプレイベントとして、『世界かんがい施設遺産サミット in Kumamoto』を開催し、かんがい施設の持続的な保全・活用に向けた機運を高めていく」と答弁しました。

ました。

党市議団としても、国・市が協力し実現できるよう、引き続き取り組んでいきます。



「渡鹿堰」